

<703> 「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」の違いのエッセンスは？

「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」の違いのエッセンスは、資料に示した例になります。その違いを使い分けて、学習指導や学習評価をしてみたいかがでしょうか？ また、その他の例も参考資料として示してみます。

資料：「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」との違いの例

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等
事実の内容そのもので、習得する内容が事実に知識となる学習内容	問題解決する課題を「知識及び技能」を活用し、使用目的や条件を考慮して、解決していく学習内容
原因がすぐわかる単純な失敗、指導したままの内容を解答	教員が指導した以外の内容を回答、原因がわからない失敗の原因を考える

参考資料：「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」との違い

違いの項目	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等
学習機能	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の基礎内容（キーワード）を記憶し、再生する ○設計・計画に基づかない単純な製作・育成・制作活動 ○「知識及び技能」を活用し「思考力・判断力・表現力等」した後の内容の理解の再生か？ 例：目的に応じて、使用する材料の性質を理解するレベルになった「知識及び技能」としての内容（あの場所には木材がいい）	<ul style="list-style-type: none"> ○技術力で解決できる問題を見出す ○条件に合う内容を選択する ○「知識・技能」の内容を総合化して、新たに生み出す（設計・計画） ○諸条件に合うものを分類・分析する ○設計・計画に基づく製作・育成・制作活動 ○諸条件を考慮して技術の＋面と－面を評価する ○実践力は「主体的に学習に取り組む態度」で学習
評価機能	<ul style="list-style-type: none"> ○単なる再生 ○理解レベルや概念化した内容の再生は、学習評価の場合含まないと考える 	①課題の把握、②知識及び技能の活用、③使用目的や状況の判断、④解決結果を導く、の4条件が必要
指導要領の趣旨	内容を理解、技能を身に付ける	技術の力で①～④の問題を解決する力
学習指導要領の技術分野の目標の趣旨	(1) 生活や社会で利用されているA～Dの技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。